少年はこの美しい世界を心の目で見ていた

『運動靴と赤い金魚』の
マジッド・マジディ監督最新作

太陽は、ぼくの瞳

「神さま、なぜぼくは目が見えないの？」
目の見えない8歳の少年の純粋に生きる姿が、すべての人の涙をさそう感動作！！

カナダ・モントリオール国際映画祭グランプリ受賞／文部省選定／優秀映画鑑賞会特別推薦

監督・脚本：マジッド・マジディ「運動靴と赤い金魚」　主演：モフセン・ラマザーニ（モハマド）、ホセイン・マージューブ（父）、エルハム・シャフリィ（おばあちゃん）
1999年／イラン映画／カラー／90分／モノラル／1:1.85／協力：ベルシャ観光局、財団法人日本眼球銀行協会／配給：アミューズ

©1999 Varahonar Film Co.

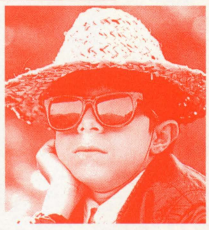
THE COLOUR OF PARADISE
DIRECTOR & WRITER:MAJID MAJIDI CINEMATOGRAPHER:MOHAMMAD DAVOUDI MUSIC:ALIREZA KOHANDAIRY EDITOR:HASSAN HASSANDOOST ART DIRECTOR:ASGHAR NEZHAD-IMANI CAST:HOSEIN MAHBOOB SALAMEH FEYZI HOSSEN RAMEZANI ELHAM SHARIFI FARAHNAZ SAFARI
SOUND MIX:MOHAMMADREZA DELPAK SOUND RECORDIST:YADOLLAH NAJAFI PRODUCTION MANAGER:MEHDI KARIMI ALI KALI PRODUCTION COMPANY:VARAHONAR COMPANY

太陽は、ぼくの瞳

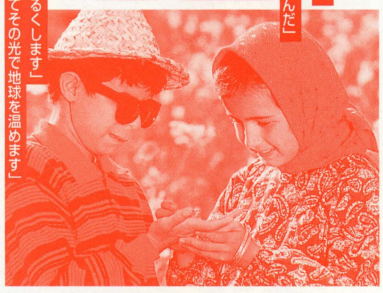
カナダ・モントリオール国際映画祭グランプリ受賞／文部省選定／優秀映画鑑賞会特別推薦
監督・脚本:マジッド・マジディ「運動靴と赤い金魚」主演:モフセン・ラマザーニ(モハマド)、ホセイン・マージューブ(父)、エルハム・シャフリィ(おばあちゃん)
1999年／イラン映画／カラー／90分／モノラル／1:1.85／配給:アミューズ／協力:財団法人日本眼球銀行協会、ベルシャ観光局 ©1999 Varahonar Film Co.

イランから届いた宝石のような珠玉の感動作!!

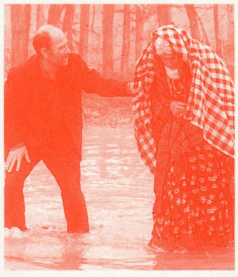
モハマド「おばあちゃんの手白いね」
おばあちゃん「私の手が白いって誰から?」
モハマド「知ってるよ、柔らかくてきれいなんだ」



モハマド「太陽は地球を明るくします」
「昼間は太陽が出てその光で地球を温めます」



父「目の不自由な人が大工をしている。モハマドを頼めないかな? 将来自立できるか心配だ」
おばあちゃん「自分の将来が心配なんだろ?」



モハマド「誰もぼくを好きじゃないんだ。目が見えないからみんなぼくから逃げる。」

「運動靴と赤い金魚」に続き 二度目のモントリオール映画祭 グランプリ受賞!!

8歳の盲目の少年を主人公にした宝石のような素敵な作品が世界中の人々を虜(とりこ)にしている。監督は、大ヒット作「運動靴と赤い金魚」のイラン映画界の才人マジッド・マジディ監督。実際に目の見えない少年モフセン・ラマザーニのいたいけな姿をイランの壮大な自然を背景に描きだし、その純真な姿に多くの人々が熱い涙を流した。また「運動靴と赤い金魚」が子供の無邪気な姿を描き、観客をなごませてくれたのに対し、「太陽は、ぼくの瞳」は、盲目の少年の痛みだけではなく、彼を取り巻く家族の痛みや哀しみをも表現し、優しさや人の命の尊さなどを考えさせられる作品としてより完成度を高めている。その結果、モントリオール国際映画祭で初の2度のグランプリ受賞という快挙を成し遂げた。また世界の映画 祭で大絶賛、マジディは"ポスト・キアロスタミ"の枠を超え、世界が認める監督となった。

モハマド。 目の見えない8歳の少年。 彼は手で世界を見つめる・・・

モハマドはテヘランにある盲学校に通う8歳の少年。夏休みになり、家族の住むカスピ海沿岸の小さな村に戻ってきた。母を失い、父との関係に心を痛めながらも、暖かい家族に支えられ一所懸命毎日を暮らしている。彼は手で、植物や風や小鳥などの自然を見ようとする。妹たちの学校にも行き、夏休みを楽しんでいた。しかし意中の女性との再婚を望む父は、息子の自立を理由に、モハマドを盲目の大工のもとに見習いへ連れて行く。誰にも愛されていないと泣きじゃくるモハマドを大工は優しくなぐさめる。しかし、ある事件が父とモハマドの運命を変えようとしていた…。

『運動靴と赤い金魚』に続き世界中の人々を感動の渦に巻き込んだ話題作がついに日本公開!

少年とマジディ監督との出会い

実際に盲学校に通う少年たちと1年間つきあい、彼らの体験を盛り込みながら脚本を書き上げたマジディ監督。そこでモフセンと出会い、彼の話し方やしっかりした物事の考え方を聞き、彼を主役に抜擢した。モフセンは「この映画に出て僕は成長した。映画のおかげではじめていろいろなものを見ることができた。森や川などに触れて、僕は世界がつかめた」と語っている。また監督も、モハマドの自然とふれあう姿を見つめ、「目の見えない人は、心の目でこの世界を見ている。もしかすると目が不自由なのは私たちのほうかもしれない」と語っている。

モハマド「神様は目が見えない人のほうが好き。それならなぜ神様を見えなくさせるの?」

00.5.27

近日、待望のロードショウ

(土日祝10:40) ①12:40 ②2:40 ③4:40 ④6:40

パラダイスシネマ 心斎橋アメリカ村BIG STEP 4F 06(6282)1460

一般前売券¥1500、チャリティー前売券¥1800(前売券+ポストカード2枚付。劇場窓口のみの限定販売です。収益の一部を目の障害を持った人のために(財)日本眼球協会に寄付致します。)**好評発売中**

★劇場窓口、市内プレイガイド、チケットぴあ、ローソンでお求め下さい。★窓口でお求めの方には先着でポストカード付(チャリティー前売券の場合は含まれます)